

土石防だより



昇陽、雲海を染める（千枚岳）

年頭の御挨拶	2
2013年しずおかの砂防10大ニュース	
平成26年度 政府予算案閣議決定	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
綿貫会長等の富士山周辺砂防現地視察	
青森県の砂防関係事業等視察	5
平成25年土砂災害の発生状況	6
西伊豆町の土砂災害の状況と対応	7
わかまち(伊豆市・森町)	8
土砂災害防止講習会の開催	9
インフォメーション	9~11
お知らせ	12



平成26年度 政府予算案閣議決定

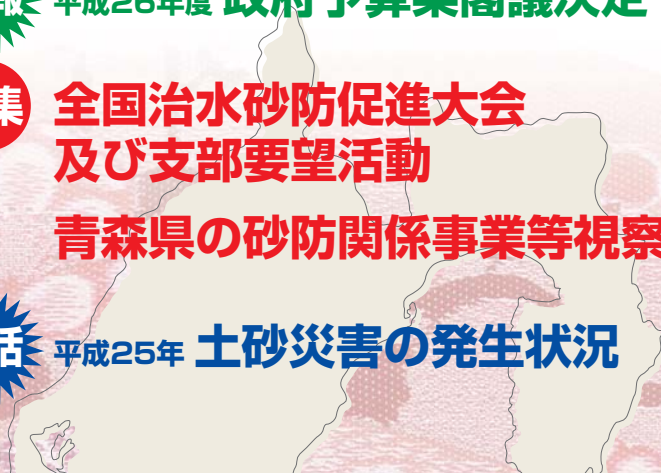


全国治水砂防促進大会
及び支部要望活動

青森県の砂防関係事業等視察



平成25年 土砂災害の発生状況



全国治水砂防協会静岡県支部



年頭の御挨拶

全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 原田 英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、全国で928件の土砂災害が発生し、残念ながら53名もの方々の尊い命が犠牲となっております。特に、10月の台風26号では、東京都大島町（伊豆大島）で流木を伴う大規模な泥流により、39名の死者行方不明者を生じる激甚な被害をもたらしております。

本県においては、幸いなことに人的被害もなく、土砂災害の発生件数も例年よりも少ない26件でありました。しかしながら、4月には浜松市天竜区春野町杉地先で大規模な地すべりが発生し、7月17日から18日の豪雨では、西伊豆町で1時間に98ミリの大雨を観測し13件の土砂災害が発生しました。これらの土砂災害では、県の整備した防災施設により人家等への土砂被害を防止しております。現在、3箇所において災害関連緊急事業により法面対策や砂防えん堤工を進めるとともに、その他箇所についても交付金事業等により早期の災害復旧・安全対策が進められています。

静岡県は、県総合計画（平成22～25年度）に基づき、「土砂災害による死者数0人」を目指して、土砂災害防止施設の着実な整備に努めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定、土砂災害警戒情報の气象台との共同発表、避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備、土砂災害防止に関する知識の県民への普及など、早期の住民避難を促すソフト施策の充実を図り、総合的な土砂災害対策に取り組んできました。現在、県では次期基本計画（平成26～29年度）を策定中ですが、更なる取り組みが期待されます。

また、県などによる土砂災害防止施設整備の推進とともに、住民自らが「自分の命は自分で守る」ため、住民の警戒避難の重要性が再認識されております。地域住民の生命を預かる我々市町長も、防災に関する情報をいち早く住民に伝えるなど、国・県が提供するソフト施策を早期避難に活用することも、市町の役割であると思います。

今年も「土砂災害による死者数0人」を目指し、砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年は平穏な年であるよう祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

2013年 しずおかの砂防 10 大ニュース

（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「静岡大会」開催

5月29日から31日の3日間にわたり、静岡市内で平成25年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会が開催されました。

5月29日から30日に開催された研究発表会は、行政・研究機関・民間企業などから研究成果や事例など口頭発表174件、ポスターセッションによる発表183件がありました。5月31日の現地研修会は、富士山周辺、伊豆コースの2コースで実施されました。



現地研修会（伊豆半島ジオパーク）

静岡県第4次地震被害想定が公表される

第4次地震被害想定は、東日本大震災をはじめとする第3次地震被害想定（静岡県、2001）以降に発生した地震・津波災害が残した教訓や蓄積された科学的知見を生かしつつ、地震・津波による自然の外力や、それらがもたらす被害の様相を、あらかじめ想定し、今後の地震・津波対策の基礎資料として活用することを目的に実施されました。

本想定は、これまで静岡県が地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波を「レベル1の地震・津波」、また、東日本大震災から得られた教訓として、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を「レベル2の地震・津波」と位置付けています。



平成26年度 政府予算案閣議決定

速報

12月24日、平成26年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.02の約5兆1,616億円です。予算のポイントの内、砂防事業に関するものを示します。

平成26年度 国土交通省関係予算総括表(国費)

(単位: 百万円)

事 項	平成25年度 A	平成26年度 B	対前年度 B/A
治 水	600,878	619,088	1.03
社会資本総合整備	1,949,089	1,996,419	1.02
社会資本整備総合交付金	903,136	912,362	1.01
防災・安全交付金	1,045,953	1,084,057	1.04
その他(道路・港湾等)	2,489,390	2,546,136	1.02
公共事業関係費	5,039,357	5,161,643	1.02

1. 沖縄振興予算の国土交通省関係分を含む。
2. 本表のほか、
 - (1) 東日本大震災からの復興対策に係る経費
(東日本大震災復興特別会計)
復旧・復興 551,703百万円
全国防災 44,050百万円
計 595,753百万円
3. 計数は、整理の結果異動することがある。

砂防関係事業における主要項目

1. 南海トラフ地震等の大規模地震に備えた地震・津波対策
2. 深層崩壊や火山噴火に備えた土砂災害対策
3. 戦略的維持管理・更新

浜松市天竜区春野町杉地先で崩壊発生(門島地すべり)

3月下旬に住民が亀裂を発見、4月21日23時30分に伸縮計で11.8mm/hの動きを観測したため、浜松市は住民避難を要する危険度に達したと判断し、対象世帯に避難勧告を行いました。その後、4月23日に大規模な地すべり活動が発生、6月27日に災害関連緊急地すべり対策事業が採択されました。

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013を策定

第4次地震被害想定において推計された被害をできる限り軽減するため、津波対策をはじめ、建物被害、火災、山・がけ崩れ等の広範な地震対策の主要な行動目標を、平成25年6月に静岡県第4次地震被害想定(第一次報告)に合わせて策定し、平成25年11月に同(第二次報告)に合せて、11アクションの追加等を盛り込み確定しました。

静岡県支部 第68回 通常総会開催! 川勝知事、中谷県議会議員、(一社)全国治水砂防協会大久保副会長がご出席

6月7日に静岡市内において、静岡県支部第68回通常総会が川勝知事、中谷県議会議員、(一社)全国治水砂防協会大久保副会長のご出席のもと、開催されました。
また、2年ぶりの役員改選により、原田袋井市長が支部長、須藤富士宮市長が副支部長に再任、菊地伊豆市長が副支部長に就任されました。



川勝知事の挨拶 中谷県議会議員の挨拶 大久保副会長の挨拶 原田支部長の挨拶

賀茂郡西伊豆町で土石流災害発生

7月17日から18日にかけて西伊豆町宇久須雨量観測所で1時間に98ミリの雨を観測し、土石流8溪流、がけ崩れ5箇所(土砂災害)が発生しました。(詳細はP7)

富士山世界文化遺産に登録される

6月26日、カンボジアの首都プノンペンで開催された世界遺産委員会で、日本政府が推薦した「富士山」(山梨、静岡両県)が「三保松原」を含め、世界文化遺産に登録されました。

平成24年度大型補正で12億円執行

砂防設備緊急点検を実施

(一社)全国治水砂防協会 綿貫会長が大沢扇状地、由比地すべり等視察

9月24日から26日の日程で、山梨県・静岡県・神奈川県にかけて(一社)全国治水砂防協会の砂防関係事業の視察が行われました。(詳細はP4)

伊豆大島で土石流災害発生

番外

10月15日から16日の台風第26号により東京都伊豆大島で甚大な被害が発生しました。

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表しておりません。

全国治水砂防促進大会 及び支部要望活動

11月19日に、全国治水砂防促進大会が砂防会館(東京都千代田区)で開催されました。全国から1,035名が参加し、当協会からも10名のご出席をいただきました。大会に先立ち、荒井正吾奈良県知事より「平成23年紀伊半島大水害における深層崩壊の解明と復旧・復興対策について」と題して特別講演が行われました。

大会は、綿貫民輔会長の挨拶に始まり、太田昭宏国土交通大臣からの祝辞に続き、国土交通省大野宏之砂防部長より「国土保全と砂防」と題した講演をいただいた後、会員代表として栃木県さくら市人見健次市長と三重県いなべ市日沖靖市長により意見発表が行われました。

次に、村上英人副会長から大会提言について説明がなされました。長野県木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟の高橋進会長から市町村議員としての賛成意見が述べられ、最後に大会提言は満場一致で採択されました。

大会終了後、当支部会員の皆様により、地元選出国會議員と国土交通省へ、平成26年度予算確保に向けて要望活動を行いました。

お忙しい中、ご出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



静岡県支部の要望書

全国治水砂防促進大会



綿貫会長の挨拶



太田大臣の祝辞



菊地副支部長(伊豆市長)による足立技監への要望

参加市町

袋井市、伊豆市、河津町、東伊豆町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、御前崎市、藤枝市 (10市町/35市町) ※太字は本人参加

綿貫会長等による砂防視察

綿貫会長等の富士山周辺砂防現地視察

9月24日から26日の日程で、山梨県・静岡県・神奈川県にかけて(一社)全国治水砂防協会の砂防関係事業の視察が行われました。本県には25日に、綿貫民輔会長、大久保駿副会長、友松靖夫顧問、岡本正男理事長、石原洋介総務部長がお見えになりました。

大沢扇状地及び栗ノ木沢砂防事業を視察した後、須藤秀忠副支部長(富士宮市長)を表敬訪問され、由比地すべり現場を視察されました。

日程

9月24日(火)
● 山梨県

9月25日(水)
● 富士山大沢崩れ(扇状地)視察
● 栗ノ木沢砂防事業視察
● 副支部長(富士宮市長)表敬訪問
● 由比地すべり現場視察

9月26日(木)
● 神奈川県



富士砂防事務所による大沢扇状地の説明

会員(市町長)による砂防視察研修

青森県の砂防関係事業等視察

本年6月に富士山が世界文化遺産に登録されたことから、8月22日から24日に、「世界遺産と砂防の係わり」をテーマに世界自然遺産「白神山地」を含む青森県の砂防関係事業先進地を訪れました。

1日目は、白神山地を源とする岩木川の弘前防災ステーションにおいて、国土交通省青森河川国道事務所の盛谷明弘所長ほかの皆様より、弘前・馬淵川防災ステーション、排水ポンプ車・照明車及び国・県・市町村の連携した水防活動の取り組みについて説明をしていただきました。

2日目の午前中は、世界遺産「白神山地」の概要を知るために「ビジターセンター」を訪れた後、暗門「ブナ林散策道」を歩き健全に管理された森林の状況を確認しました。その後、西目屋村の三上幸雄参事ほかの皆様による世界遺産の保全管理体制等についての研修と、意見交換を行いました。

午後には、青森県河川砂防課の後藤正総括主幹ほかの皆様より、鳶川火山砂防事業の現場説明及び青森県砂防発祥の地で白神山地を源とする赤石川砂防の環境保全の取り組みについて紹介していただきました。

富士山世界遺産の取り組みでは、「富士山包括的保存管理計画」等において砂防施設等設置の推進を行うこととしています。平成28年にはユネスコ世界遺産センターに「保全状況報告書」を提出することから、より一層の取り組みが必要であり、白神山地での砂防事業等の取り組みは大いに参考となりました。

日程

8月22日(木)

- 弘前地区(岩木川)防災ステーション(弘前市)視察
青森河川国道事務所より、青森県の治水事業の紹介、近年の災害状況の説明及び施設見学

8月23日(金)

- 世界遺産「白神ビジターセンター」(西目屋村)視察
- 暗門「ブナ林散策道」視察
ボランティアの活動状況、誘導施設、砂防施設等視察
- 津軽ダム見学
- 西目屋村役場において
西目屋村より世界遺産の保全管理体制等についての研修・説明及び意見交換
- 「蔵助沢土石流災害」のDVD視聴
- 鳶川火山砂防(溪流保全工)(十和田市)視察
青森県国土整備部河川砂防課より、鳶川及び赤石川の砂防事業の説明

8月24日(土)

- 奥入瀬溪流視察

参加市町

袋井市、富士宮市、伊豆市、森町、河津町、菊川市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、川根本町、静岡市、下田土木事務所、沼津土木事務所、袋井土木事務所、事務局(13市町/35市町)

※太字は本人参加



弘前地区(岩木川)防災ステーションにて



西目屋村との意見交換会

土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらします。

土砂災害は全国各地で毎年発生し、過去10年間で平均約1,000件、県内においても年平均約40件も発生しています。

平成25年は、県内で26件の土砂災害が発生し、そのうち7月17日から7月18日の豪雨では13件の災害が発生しました。このうち、5件では既設の擁壁等が土砂や倒木を食い止め、人家への被害を未然に防止し、地域への安全に貢献しました。

平成25年 県内の土砂災害

種別	発生日と気象状況								計
	3月22日	4月6日～4月7日	4月28日	7月4日	7月17日～7月18日	9月16日	10月26日	11月25日	
	地すべり	豪雨	—	豪雨	豪雨	台風18号	台風27号	豪雨	
土石流		1			8				9
地すべり	1					1			2
がけ崩れ		4	1	1	5	1	2	1	15
計	1	5	1	1	13	2	2	1	26



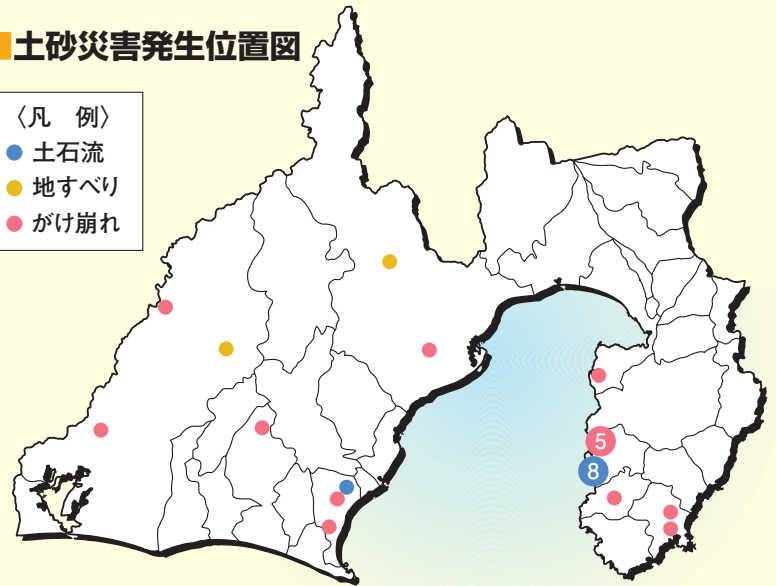
がけ崩れから幼稚園を守った急傾斜施設
(西伊豆町安良里)



門島地すべり被災状況(浜松市天竜区春野町杉)

土砂災害発生位置図

- 〈凡例〉
- 土石流
 - 地すべり
 - がけ崩れ



安良里浜川土石流被災状況
(西伊豆町安良里)



仏沢川土石流被災状況
(西伊豆町田子)

西伊豆町の土砂災害(7/17~18)の状況と対応

7月17日から18日にかけて、西伊豆町宇久須雨量観測所で1時間に98ミリの非常に激しい雨を観測し、土石流8溪流、がけ崩れ5箇所、土砂災害が発生しました。

このうち、砂防課では土石流2箇所について災害関連緊急砂防事業が採択されました。また、賀茂幼稚園裏を含む3箇所のがけ崩れに対しては、交付金事業により災害発生後の迅速な対応をしています。

災害関連緊急砂防事業(西伊豆町)

溪流名	設置種別	計画諸元	保全対象	採択額(百万円)	採択日
仏沢川	・砂防えん堤工	H = 10.5m L = 75.5m	・人家 24戸 ・国道 L = 100m	247.68	H25.9.12
安良里浜川	・砂防えん堤工 ・町道嵩上工	H = 7.0m L = 41.0m	・人家 80戸 ・国道 L = 50m	213.12	H25.9.12
計	2基			460.80	



西伊豆町安良里地区の被害範囲



賀茂幼稚園



安良里浜川土石流被害状況



仏沢川土石流発生状況

伊豆市

伊豆市長 菊地 豊

関東にある房総半島、三浦半島、伊豆半島のなかで、伊豆はどのような特長を持っていると思いますか？ 実は、1400m級の山々、850km²の流域面積、豊富な温泉、これらはいずれも伊豆半島のみが享受する大切な宝なのです。半島中央部に位置する当市は、これらを全て包含しています。まさに日本の良さがコンパクトながらフルセットで揃っているのです。

世界文化遺産に登録された富士山は、昔から有名だったのではありません。昭和14年に、縦8m、横32mという大パノラマ写真がニューヨーク万博に登場し、「富士山」は世界の「マウント フジ」になりました。この撮影場所が、伊豆市の達磨山なのです。

天城山系は全国平均の2倍の雨量をもたらし、シイタケ栽培を可能としました。狩野川の清流はワサビ栽培の最良の環境となり、中流域において田方平野を形成し、駿河湾を豊穡の海としています。山、川、里山、海の幸に恵まれた食材、自宅近くのどこにでもある温泉をもって、私たちは「日本人の心地よいふるさと」とであると自負しています。

ところが、この魅力ある自然環境がときにおそろしい災害をもたらすことも、また私たちの宿命でもあります。狩野川台風以降は、100を超える砂防ダムによって多くの犠牲が抑止されてきました。環境保全と安全対策は、日本人の永遠の課題ですね。



達磨山からの富士山



伊豆市市山・小豆沢砂防堰堤 H25.7月完成

森 町

建設課

森町は三方を小高い山々に囲まれ、中央を太田川が流れる風情豊かな町です。

県西部に位置し、東西13km、南北24km、面積133km²で、うち約7割が森林です。

かつては火伏せの神秋葉神社へ通ずる街道の宿場町として、江戸時代中期頃からは古着の町として葛飾北斎の「栄える都市の番付」の前頭に、その名が掲げられるほどの盛況をみせていました。明治時代の中頃、森町を訪れた地理学者志賀重昂は、山紫水明のこの町を「小京都」と称賛し、以来、遠州の小京都と呼ばれるようになりました。

平成24年には待望の新東名高速道路が開通し、森掛川ICより森町を訪れる観光客も12%、12万人の増となりその効果が現れており、さらには平成26年には遠州森町スマートICも完成する予定です。

さて、平成22年より鍛冶島地区の下田沢で砂防工事が行われています。土砂災害の危険を感じている周辺住民に大きな安心が生まれたことと思います。

今後も住民が安全に暮らせる生活環境づくりに関係各位のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



下田沢砂防堰堤(施工中)



アクティ森

「土砂災害防止講習会」を開催

土砂災害による人的被害を未然に防止するためには、日頃からの危険箇所の監視・点検や、地域住民への防災知識の普及を目的とした広報活動等が重要です。

静岡県では広報活動として、地域住民及び自主防災組織の方々を対象とし、地域の自主防災組織の会合等に職員を派遣する「土砂災害防止講習会」を実施しています。また、小中学生を対象とし、防災教育の一環として、授業時間を活用した「土砂災害出前講座」を実施しています。

平成25年度は県内外で大規模な土砂災害が発生したこともあり、県民の方々の土砂災害への関心が高まっているように感じられました。その結果、例年よりも多くの方に講習会に出席していただきました。また、出前講座を受講した生徒からは「自分の住んでいる所が土砂災害の恐れがあることを知って驚いた」、「いざという時のために、家族や地域の人と話し合っておきたい」等の声が多く寄せられました。

土砂災害防止に関する知識の普及のために今後も積極的な広報活動を行っていきたいと思います。



土砂災害講習会の様子



出前講座にて近郊の危険箇所を確認



出前講座にて真剣に話を聞く生徒達

■ H23～H25（12月1日現在） 講習会、出前講座実施回数

	H23	H24	H25
講習会実施回数 (受講者数)	21回 (1,853名)	19回 (1,662名)	22回 (2,248名)
出前講座実施回数 (受講者数)	0回	8回 (344名)	9回 (343名)

I N F O R M A T I O N

治山・砂防事業推進議員連盟が砂防関係事業を視察

12月17日、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防関係事業の推進を目指す「静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟」が富士宮市内の現地視察を行いました。

今回の視察には会員66名のうち19名が参加し、富士山の大沢扇状地の砂防事業、安居山上ノ原急傾斜事業を視察されました。

議員の皆様が熱心に現場の状況を見ていただき、がけ上人家対策や急傾斜の法面対策の採用工法等について活発に意見が出されるなど、土砂災害対策の重要性について再認識していただきました。

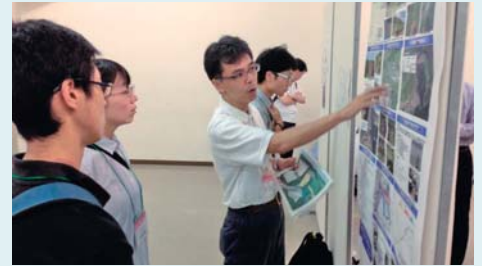


富士宮市「安居山上ノ原」急傾斜にて

出席者名簿		党派
氏名	盛雄	自民改革会議
杉山	達也	
鳥澤	治郎	
小野	竹雄	
森	育子	
吉川	源世	
伊藤	志夫	
土	由志	
仁	世	
和	篤夫	
後	澄美	
鈴木	茂人	民主党・ふじのくに県議団
小長	井由雄	
池谷	晴一	
佐野	愛子	
櫻町	宏毅	公明党 静岡県議団
本	康久	
四	卓	
早川	孝一	
早川	育子	

平成25年度(公社)日本地すべり学会 第52回研究発表会が開催される

8月28日から30日にかけて、鳥根県松江市で平成25年度(公社)日本地すべり学会第52回研究発表会が開催されました。学会には、全国の地すべり研究に従事する研究者や技術者約350人が一同に会し、これまでの研究成果、社会貢献とその発展についての研究成果を発表されました。今回、ポスターセッションに「静岡県浜松市天竜区春野町杉(門島地区)で発生した地すべりの初期対応」と題して杉本傾斜地保全班長が発表し、若手技術者をはじめ参加者より、多数の質問、意見をいただきました。



ポスターセッション説明状況

事業評価監視委員会が開催される

9月27日、平成25年度第3回静岡県事業評価監視委員会(第1回:8月16日、第2回:9月6日)が県庁で開催されました。砂防関係事業では、事後評価で砂防事業の「金時川(小山町)」、急傾斜地崩壊対策事業の「丸子芹ヶ谷a(静岡市)」の2件が審議され、「改善措置の必要性は特に認められない。」との意見がとりまとめられました。また、再評価では急傾斜地崩壊対策事業の「船田岩本(松崎町)」、「青羽根岩下(伊豆市)」、「関の沢(静岡市)」、「小河内番古(静岡市)」、「時ヶ谷ナガウタリ(藤枝市)」、地すべり対策事業の「口坂本(静岡市)」の6件が審議され、「いずれも事業を継続するのが相当である」との意見がとりまとめられました。

平成26年度は、再評価で4件(砂防0件、急傾斜3件、地すべり1件)、事後評価で21件(砂防5件、急傾斜12件、地すべり4件)が対象となる予定です。

平成25年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が開催される

10月17日、平成25年度東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が愛知県瀬戸市「瀬戸蔵」で開催されました。合同会議には、全国治水砂防協会の岡本理事長を来賓に向かえ、東海地区の各支部長、砂防課長が出席しました。岡本理事長からは、パワーポイントを使い土石流の事例紹介が行われ、改めて土石流の恐ろしさを痛感しました。また、伊豆大島の大規模な土砂災害を踏まえ、避難勧告、避難指示の発令について、各支部長の熱心な意見交換が行われ大変有意義な会議となりました。

ジオフォーラム2013 IN 静岡が開催される(主催 静岡県地質調査業協会 他)

10月18日に「ジオフォーラム2013 in 静岡」が静岡市で全国治水砂防協会静岡県支部、静岡県道路協会の協賛により開催されました。今回のフォーラムでは物理探査試験機を実際に使用して物理探査等の基礎講座とそれらに関する技術発表3件が行われました。また、神奈川県温泉地学研究所所長、静岡大学名誉教授である里村幹夫氏により、「南海トラフ超巨大地震について」と題し、地震発生のメカニズム、南海トラフ地震の解説及び地震が発生した際のとるべき(命を守るための)行動についての特別講演が行われました。

東海地区土砂災害防止法担当者会議を開催

11月5日、平成25年度東海地区土砂災害防止法担当者会議をクーポール会館(静岡市)で開催しました。会議では、はじめに各県の取り組み状況について紹介し、その後各県から提案された議題について討議しました。討議では区域指定に関する課題や土砂法の解釈に関する課題が議論の中心となりました。活発な意見交換により各県のおかれている状況等を把握することができ、有意義な会議となりました。



会議の様子

東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が開催される

11月6・7日、東海4県の担当者による東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が愛知県で開催されました。6日の会議では、急傾斜・地すべり対策における各県が抱えている疑問等の活発な意見交換が行われ、また、7日の現場研修では、急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業を予定している現場などを見学し、大変有意義な会議となりました。



九久平区域 急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業
(愛知県豊田市九久平町)

東海地区砂防担当者会議が開催される

11月14・15日、東海4県の砂防担当者会議が三重県熊野市を会場に開催されました。各県の担当者のほか、国土交通省からは保全課の岡崎係長、砂防計画課の成島係長、中部地方整備局地域河川課山本係長、同課赤嶺係員が出席されました。14日の会議では、各県が抱える技術的な課題、交付金計画の評価方法など活発な意見交換が行われました。また、15日には、平成23年台風12号により被災し砂防激甚災害特別緊急事業を実施中の大和田川、ジャングの谷（いずれも紀宝町）等の砂防工事を見学しました。



「ジャングの谷」視察状況

全国地すべりがけ崩れ対策協議会の副大臣要望

12月16日に、全国地すべりがけ崩れ対策協議会による国土交通省への「地すべり・急傾斜地崩壊対策事業等の促進に関する要望」が行われました。要望は、会長である泉田裕彦新潟県知事をはじめ、福井県土木部 浦真枝幹、新潟県 小泉良彦砂防課長、長野県 田中秀基参事兼砂防課長とともに、本県からは森山誠二副知事が出席され、高木毅国土交通副大臣及び大野宏之砂防部長に手渡されました。また、事務局により国土交通大臣や国土交通省幹部への要望も行われました。



高木国土交通副大臣への要望

平成25年度 静岡県砂防・治山連絡調整会議を開催

12月18日、砂防事業と治山事業が連携して効率的に事業を実施するため、砂防・治山連絡調整会議を県庁別館7階で開催しました。

会議には、国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県砂防課、県森林保全課の各関係機関の担当者が出席し、来年度以降予定している箇所の事業調整を行いました。



会議の様子

お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は平成26年3月を予定しています。



【応募状況】

部 門	小学生	中学生	計
絵 画	11	14	25
作 文	1	3	4
合 計	12	17	29

砂防および地すべり防止講習会のお知らせ

砂防および地すべり対策業務を担当する職員の実施並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：平成26年2月20日・21日
 会 場：砂防会館別館 シェーンバッハ・サポー 利根
 参加費：5,000円
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3044



平成26年の 砂防関係の 主な行事



●支部活動予定

- 2月 5日 静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会
- 5月 30日 静岡県支部第69回通常総会(静岡市)
- 6月 1日 土砂災害に対する全国統一防災訓練
- 1～7日 がけ崩れ防災週間
- 1～30日 土砂災害防止月間
- 7日 みんなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)
- 8月 下旬 市町長等砂防事業県外視察
- 11月 月上旬 市町等砂防担当職員研修

●協会本部活動予定

- 2月20-21日 第54回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
- 5月 27日 評議員会・参与会(砂防会館)
- 28日 第78回通常総会(砂防会館)
- 11月 17日 参与会(砂防会館)
- 18日 全国治水砂防促進大会(砂防会館)



【表紙写真】

昇陽、雲海を染める(千枚岳)

桑原 芳弘さん(静岡県浜松市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は日本各地で豪雨災害など、大きな災害に見舞われた一年であり、尊い命や貴重な財産を一瞬にして奪う自然災害の脅威と砂防事業の重要性を改めて痛感する年となりました。災害により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

年頭にあたり皆様方のご多幸を祈念しますとともに、本年も砂防だよりを ご愛読いただきますよう、よろしく願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>